

継続的な活動で美しい地区を保つ

古閑老人クラブ 県緑化環境美化功労者表彰

古閑老人クラブが、令和4年度熊本県緑化環境美化功労者表彰を受けました。

同表彰は、緑豊かな潤いあるまちづくりのために長年活動してきた個人・団体の功績をたたえるもので、今年度県内で4団体が受賞。同クラブは、花の植栽や草取り、公民館やお地蔵さんの掃除など、継続的に緑化・環境美化活動を行っています。

同クラブの福永幸也ふくながゆきやさんは、「地区の人たちが昔から続けてきたことの結果です」と喜びを語りました。



2月17日報告に訪れた(左から)中村信子なかむらのぶこさん、福永さん、野口幸子のぐちさちこさん



左から上益城地区労働者福祉協議会の坂井徳明さかいのりあき会長、酒井教育長、こくみん共済coop 熊本推進本部の園田海舟そのだかいしづ本部長

楽しく学ぶ交通ルール

こくみん共済coopから町教育委員会に交通安全マップ贈呈

3月7日、こくみん共済coop(全国労働者共済生活協同組合連合会)から町教育委員会に「7才の交通安全マップ」が贈呈されました。

マップは、小学校入学に伴い行動範囲が広がることから交通事故による死傷者数が突出して多い7歳児を守るため、同共済が取り組む「7才の交通安全プロジェクト」の一環として、金沢大学と共同で開発。間違い探し形式で楽しく交通ルールを学ぶことができます。

各小学校1年生の交通安全教育に活用される予定です。

2つのイベントでサンジの誕生日を祝福

JAL 折り紙ヒコーキ教室とサンジ誕生日セレモニー

3月2日、JAL 折り紙ヒコーキ教室とサンジの誕生日セレモニーが開催されました。

町と連携協定を結ぶ日本航空株式会社(JAL)が主催する折り紙ヒコーキ教室には、益城中央小の3年生約80人が参加。制作した折り紙ヒコーキに、サンジへのお祝いメッセージや自分の夢などを記入しました。

サンジ像周辺で行われたセレモニーでは、児童たちが一斉に折り紙ヒコーキを飛ばし、サンジファンの人たちが麦わら帽子文字のパフォーマンスを披露。その後、3月9日に誕生日を迎えるフランキーの像が設置されている高森町への海賊旗引き渡しが行われ、盛り上がりを見せました。

1 麦わら帽子で「サンジ」の文字を作るファンの皆さん **2** 客室乗務員などJALスタッフが折り方を丁寧に説明 **3** 益城町から高森町へ海賊旗の引き渡し **4** サンジ像を囲むように参加者が集い、一斉に折り紙ヒコーキを飛ばした



©尾田栄一郎/集英社 ©2010 熊本県くまモン(撮影日:令和5年3月2日)